

漁海況情報第6報 (2022年10月26日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

表層水温は金華山周辺から仙台湾で平年並～1℃高め、100m水温は142°E以東北側で冷水が差し込み1℃低め、南側では平年並～1℃高めです。

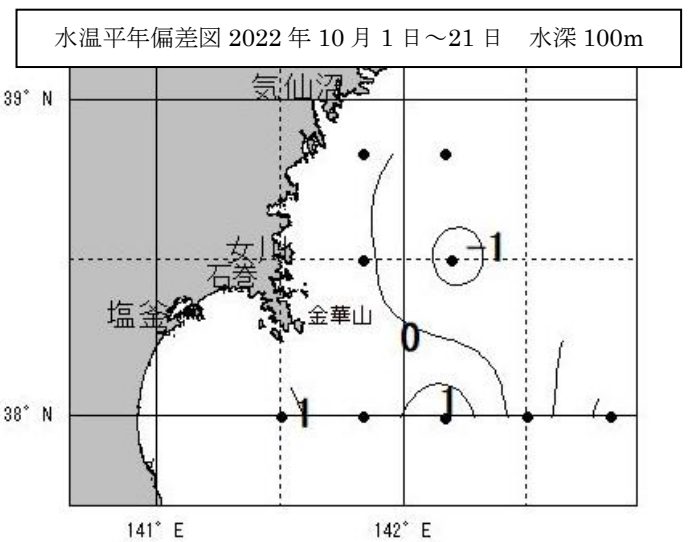
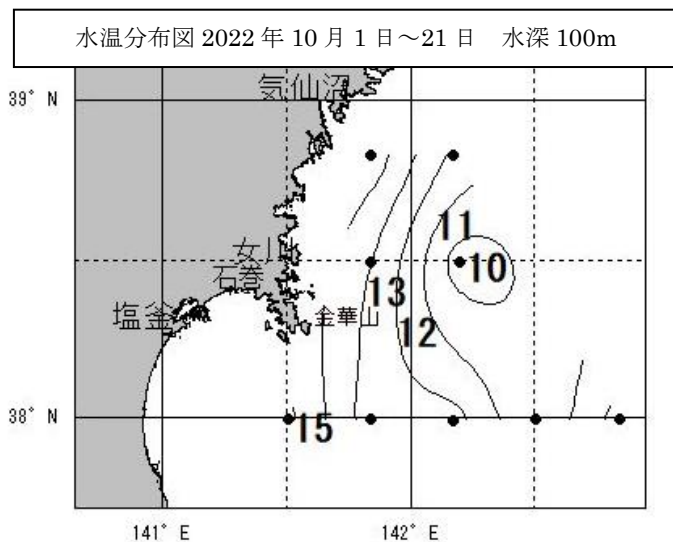
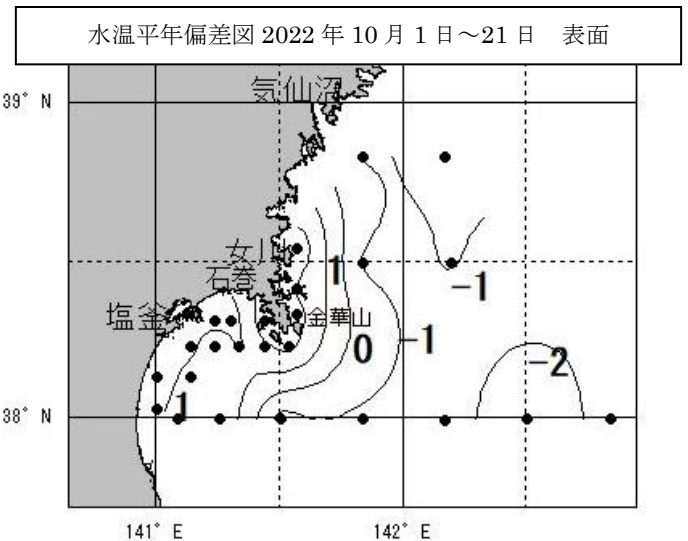
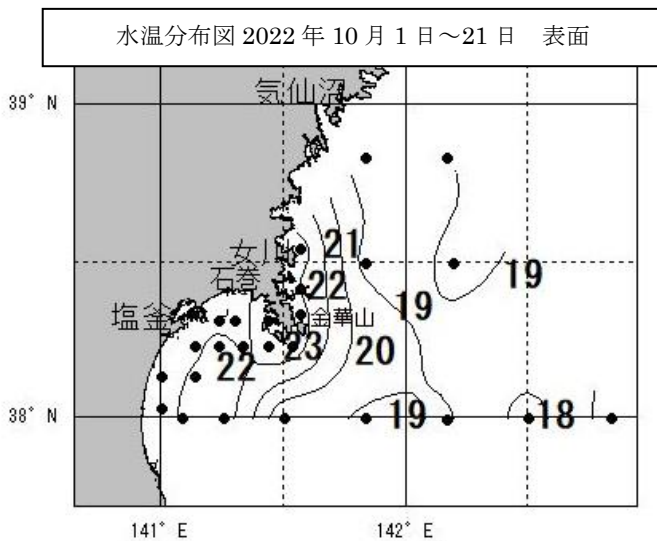
宮城県沿岸の表面水温では18～23℃台で、142°E以東で最大2℃、平年より低めとなっております。100m深水温は9～15℃台となっており、142°E以東で平年並～1℃低めです。[P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図] [P2. 水温鉛直断面図] [P2. 水温鉛直断面図]。

(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮沿岸系水の先端は、北海道納沙布岬の東北東沖113海里、勢力は前年より優勢 [P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

10月中旬の定地水温は18～20℃台で、気仙沼(杉ノ下)でやや高め、他の観測点では平年並となっております。なお、江島についてはメンテナンス中のため、観測を停止しています [P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は9～20℃台となっております。 [P3. 海底直上水温図]。

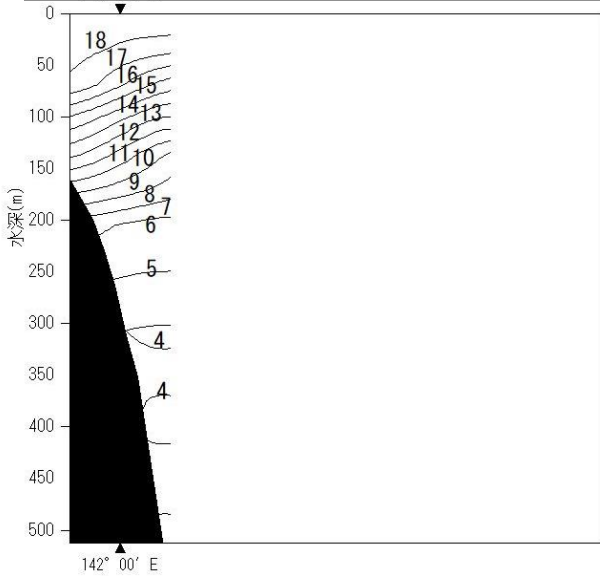
・水温水平分布図

・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

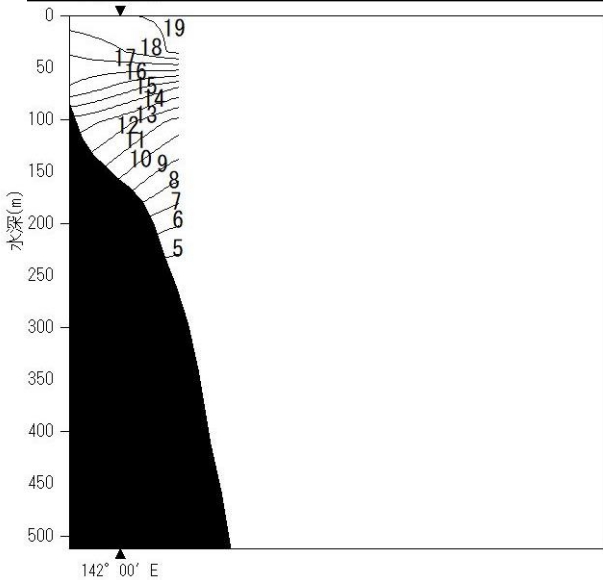


・水温鉛直断面図

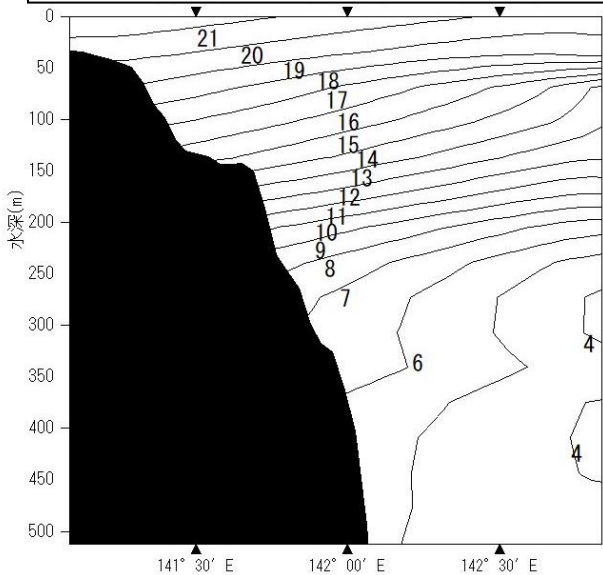
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

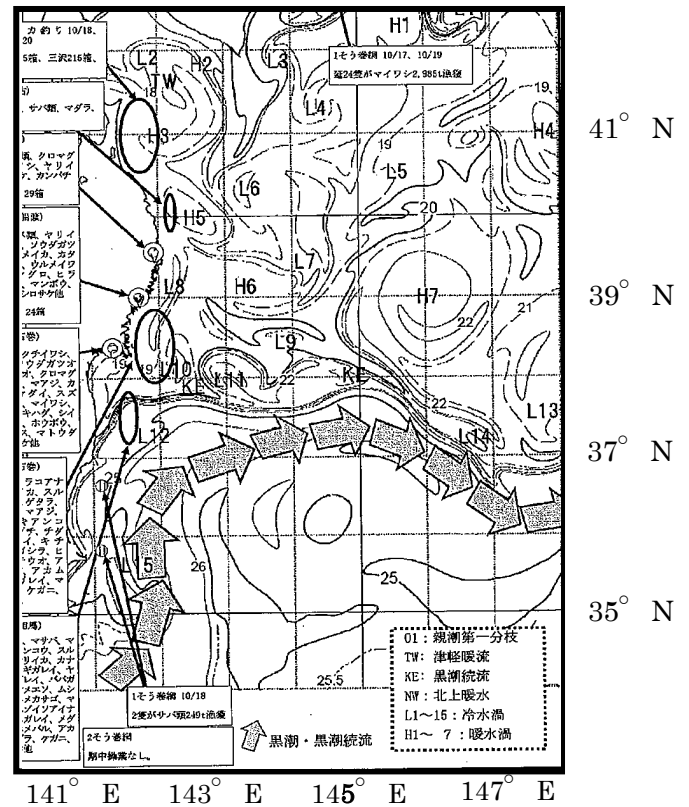


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2022年10月20日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

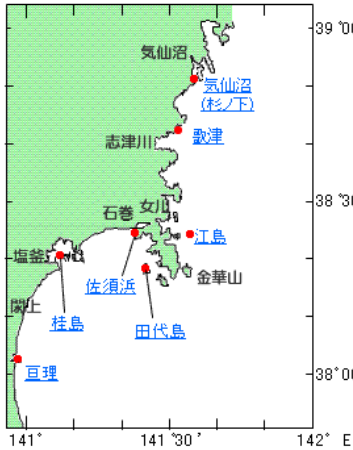
【海況】 (10月20日表面水温)

- ・親潮沿岸系水の先端は、北海道納沙布岬の東北東沖113海里、勢力は前年より優勢。
- ・津軽暖流の張り出しは、北海道襟裳岬沖でやや西に後退。
- ・黒潮続流は、房総～日立・鹿島沿岸に接岸。福島県小名浜から離岸して北北東～東に流去し、常磐沿岸～沖合に潮目を形成。

【漁況】 (10月18～20日)

- ・巻網：1そう巻網は銚子沖で2隻がサバ類249t漁獲、2そう巻網は期中操業なし。
- ・定置網：石巻はブリ、カタクチイワシ、サバ類が主体。
- ・カツオ竿釣：中部海域、日本太平洋沖合北部海域で操業の延べ32隻が38t漁獲。
- ・秋サケ：青森県太平洋～宮城県10/10までの累計で15,566尾漁獲、前年同期の57%。
- ・サンマ棒受網：大型船43隻、小型船10隻が825t水揚げ。

・定地海洋観測



	10月中旬		平年差	前年差
気仙沼 (杉ノ下)	19.2	やや高め	0.7	-0.6
歌津	19.1	平年並	0.4	-0.9
江島	—	—	—	—
田代島	19.5	平年並	0.2	-0.5
佐須浜	19.5	平年並	0.4	-0.7
桂島	18.3	平年並	-0.3	-0.8
巨理	19.5	平年並	0.3	-0.4

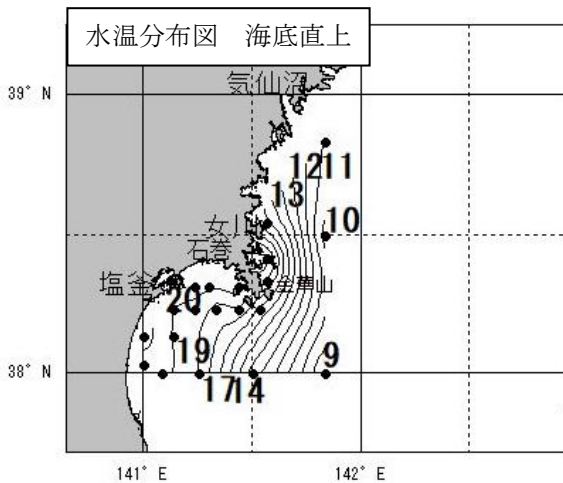
※平年値 = 過去30年
 ※佐須浜 (過去10年)
 ※歌津 (平成28年12月から観測再開)
 ※桂島 (平成24年3月から観測開始)
 ※巨理 (平成24年10月から観測開始)

※—: メンテナンス中

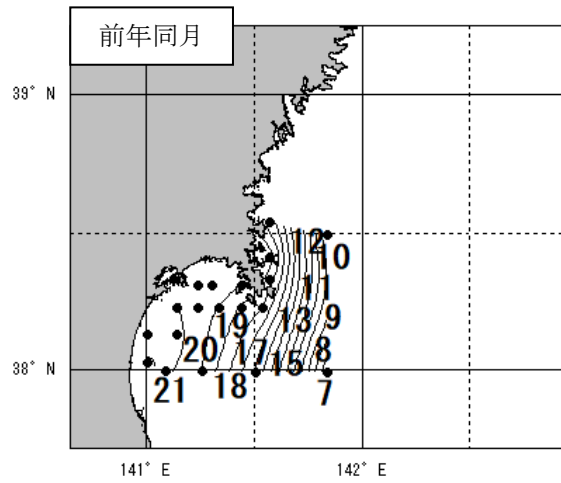
※最新の定地海洋観測結果は、<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2022年10月1日～21日)



・海底直上水温(2021年10月7日～26日)

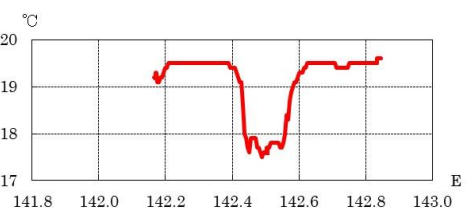
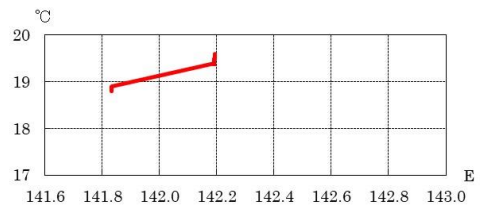
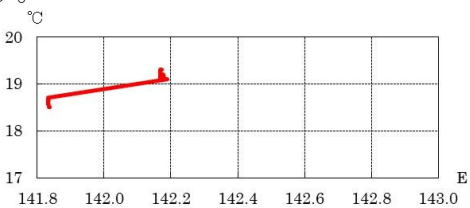
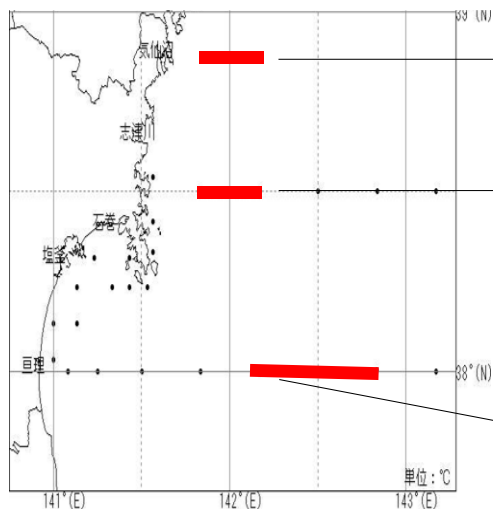


(※観測水深は500mまでです)

2. 表層水温情報

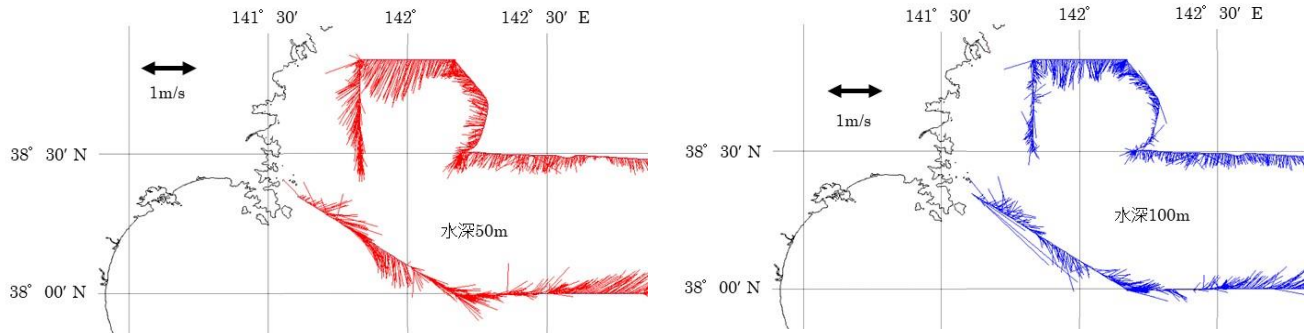
みやしおによる航走表面水温については、次のとおりです。

2022年10月1日～21日



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



※潮汐成分は除去されておられません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

9月の水揚量は前年と比較してマイワシが大幅に増加しています。ビンナガ、キハダ、カツオなどは減少しています。

(単位：トン)

2022年9月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ									2	0		2	9%
メバチ			3		4				157		3	167	61%
クロマグロ			83			15				2	4	103	38%
キハダ			38		4				5	0		47	6%
サバ類	1,298	11				457	8				19	1,793	161%
カツオ			162		1,764	0			0	0	0	1,927	21%
ブリ	0	1				330	1		0		3	335	171%
マアジ		14				91	2				1	108	88%
ヒラメ	0	2				1	6				5	14	100%
スルメイカ	209	2				1	0	0			0	212	59%
ヤリイカ	45	28				12					0	86	52%
マイワシ			167			22					3	192	4222%
カタクチイワシイワシ						91	0				34	125	149%
カナガシラ			3				0				0	3	38%
ガザミ			0				0	14			33	47	53%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※0は1トン未満の水揚げを示す。